

佐野川地区とは・・・

神奈川県最北の地区。倉子峠や矢沢峠を越えないと東部と西部に行き来できない。居住地の標高は240～600mと高低差が激しく、山・川・坂・谷ばかりの山間地。

平成22年5月	第1期まちづくり会議	①環境保全部会 ②地域資源活用部会 ③保健福祉部会
平成24年5月	第2期まちづくり会議	① 藤野地域カサポート部会」 ② いきいきサポート部会」 ・緊急連絡カード普及促進事業 ・子どもまちづくり会議の開催 ・ 地域の実情にあった交通手段の検討
平成24年9月	「さっそくいこう会」発足	佐野川地区をモデル地区にスタート
平成24年11月	住民アンケート実施	ラファエル会に相談し協力を快諾してもらう
平成25年7月	利用申込みの調査	39名の申込みがあった
平成25年10月	第1次実験運行	10月～12月まで。課題も見つかる
平成26年1月	第2次実験運行	1月～3月まで。地域活性化交付金を活用
平成26年4月	本運行開始	32名の利用者からスタート！
平成30年現在	運行継続中	25名が利用している

1 運行までの経緯・・・

佐野川地区は、9割が自家用車を保有。でも、移動手段を持たない人が150名、そして、約60名が外出困難者。(アンケートより)

佐野川地区にある老人福祉施設などの送迎車を活用して自分では移動手段がない高齢者などの買い物や通院に利用できないか、と相談した。

いくべえカーについて



「佐野川地区交通対策モデル事業」

公共交通機関に頼らない“地域力”や“地域の絆”を活用した山間地独自の交通手段

第1次実験運行開始 ⇒課題が見えてきた

- ✓降雪などの運休を連絡する仕組み
- ✓指定日に利用しない場合の運転手への連絡方法
- ✓利用申込はしたが、実際には使用しない人がいた

第2次実験運行開始 ⇒電話連絡員を設置

- ✓登録者を見直し、本当に必要な人が利用できるように
- ✓キャンセル待ちの対応もできるように
- ✓運転手さんや相乗りの方との会話を楽しみに
- ✓電話連絡員の費用は地域活性化交付金を活用

佐野川地区に合った“いくべえカー”の形が見えてきた

佐野川地区で5つの施設を運営利用者の送迎車両を多数所有している社会福祉法人ラファエル会が「地域に協力したい」と車両と運転者を提供してくれた。

2 運行は・・・

佐野川東部(水)10-12時 ※和田方面

佐野川西部(金)10-12時 ※上岩、下岩方面

現在の利用者は25名



3 運営費

- 佐野川6自治会からの協賛金
 - 草刈りの謝礼(ラファエル会)
- ※車両や運転者の提供のお礼に草刈り活動を実施。
お礼のつもりが謝礼をいただくことになった。(^^)



■連絡先：(さっそくいこう会 代表 杉本 正夫)

連絡先：相模原市社会福祉協議会 藤野地域事務所